

金沢信用金庫 津 幡 支 店 の 環 境 行 動 計 画

平成 20 年 1 月 30 日

■ 取組方針

環 境 基 本 理 念

金沢信用金庫津幡支店は、金融という仕事を通して地域経済の発展と、仕事を越えた幅広い社会活動を通して地域社会づくりに貢献することを、経営理念といたしております。当金庫の主要基盤である当地域は、素晴らしい自然環境に恵まれ、歴史と伝統文化が息づいております。

私たちはこのふるさとの環境を保全し、次世代に引継ぐため、自らの役割を自覚し、次の通り取組みます。

環 境 行 動 指 針

私たちは、当支店の事業活動が環境に及ぼす影響を最小限にとどめるために、以下の行動に取り組みます。

- ① 省エネルギーに努力し、二酸化炭素排出量を削減する。
- ② 廃棄物の削減とリサイクルを推進する。
- ③ 資源の有効な利用を図る。

この方針にそって、職員一人ひとりが高い環境意識をもち、環境に配慮した行動を実施します。また、地域での環境保全活動に積極的に参加します。

平成 20 年 1 月 30 日

金沢信用金庫
津幡支店長 城川 徳司

■ 環境負荷低減の取組

当社では、事業活動に伴う環境負荷を削減するための取組目標を掲げ、目標を達成するための具体的な取組を設定して取り組むこととしています。設定した取組目標と具体的な取組項目は、次の通りです。

目標—1	二酸化炭素の排出量を、18年度～19年度の平均を基準として20年度は1%、21年度は2%を削減する
具体的な取組	<p>(事務所での取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 冷房温度(28度)と暖房温度(20度)を適正に設定する ② エアコンの使用期間中は、毎月1回フィルターを清掃する ③ 使用しない場所の消灯を徹底する ④ 業務終了時にはパソコン・コピー機の電源OFFを徹底する <p>(車両の使用に関する取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑤ アイドリングストップを徹底する ⑥ 車両の点検を定期的に行う ⑦ エコドライブ運転を行なう

目標—2	廃棄物の分別を行なう。20年度は排出量を計量し記録することにより基礎データを蓄積する。21年度は廃棄物の分別を徹底し、排出量の対前年比減量に努める。
具体的な取組	<p>(事務所での取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 廃棄物は、可燃ごみ、不燃ごみ、プラスチック、カン・ビン・ペットボトル、紙類に分別し、排出量を計量し記録する(リサイクル) ② シュレッダーの使用は機密書類に限定する ③ ファイル、フォルダーなどは繰り返し使用する(リユース) ④ 詰め替え可能な製品、簡易包装の製品を優先的に選んで購入する(リデュース) ⑤ 製品をできるだけ長期間使用する

目標一3	OA用紙の使用量（購入量）を、19年度を基準として20年度は1%、21年度は2%削減に努める
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 作成した資料は、パソコン画面上での確認を徹底する ② 社内資料のコピー・プリントアウトは、両面・縮小・裏面活用に努める ③ コピー機のコピーボタンを押す前に、必ず設定を確認する ④ 電子メディアの利用によってペーパーレス化を推進する

■ 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画にそって環境保全活動を推進するために、支店長（環境管理責任者）を委員長とする環境推進委員会を設け、全職員が「具体的な取組」を実行します。